

## 延岡市水防センターに関する意見募集／意見の概要と本市の考え方

○意見募集期間：令和5年8月31日（木曜）～令和5年9月20日（水曜）

○結 果：提出者15名 提出された意見26件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
1	肯定的な意見	最近では異常気象による水害リスクが高まっており、このような水防施設が整備されることは大切なことだと思う。	この施設は、市民の皆様の安心・安全を確保するために、災害時において水防活動の拠点として使用する施設となっています。また、一時的な避難場所としての使用も計画していますので、完成に向けて鋭意取り組んでいきます。
2	肯定的な意見	延岡は元来、川や海に囲まれた環境下にある素晴らしい土地だと感じています。しかしながら、自然に囲まれている以上、過去には水害等の大きな被害にも見舞われています。私自身は、こういった環境にある中で暮らす以上、自然災害と一緒に暮らしていくことも考えていかないとけないと思っています。ですので、こういった施設ができるのは大変素晴らしいことだと思います。	
3	肯定的な意見	住んでいる所から離れているので使用することはないと思いますが、災害時に市民が少しでも安心できるのなら良いと思います。	
4	肯定的な意見	今まで延岡地区が過去に氾濫したという話を聞いたことがなかったため、この施設が必要なのか、最初は疑問を持ちました。しかし、近年の雨はゲリラ豪雨など、昔と少し違っており、災害を見据えて行動する必要はあると思います。宮崎県は南海トラフなど地震が来る可能性もあるため、こういった施設があっても良いと思いました。	
5	完成後の施設活用について	防災設備の充実を期待します。十分に活用していくことが大事で、国との協議で普段の管理区分を設定してほしいです。管理を十分に、人家が近くに少ないようなので、いたずら・破壊などが起こらないようにしてもらいたいです。	本市としましても、市民の皆様が親しみをもって利用できるような施設を目指していますので、平時の活用方法については、今後、地域の方々との意見交換も行いながら、検討を行ってまいります。
6	完成後の施設活用について	水防センター概要の「完成後の施設利用について」に書かれている「水防活動の訓練や防災意識の向上を図る学習の場としての利用」以外についても、地域の皆さんがこの水防センターに興味を持ってもらうため、できるだけ利用していただくことが重要だと思います。	
7	完成後の施設活用について	完成後については、しっかりと市民レベルまで活用できるようになるべきだと思っています。水害が発生した際は当然活用されると思いますが、大事なものは、自然災害が発生していない普段の活用方法がしっかりととされているかです。例えば、地域の方が散歩の途中に気軽に立ち寄り、展示パネル等を通して水害発生時の避難経路や避難場所が確認できたり、延岡市内の小学校の社会科見学等にコースとして組み込み、小学生レベルからそういった意識醸成ができるような施設になるといいのではないかと思います。自然災害を完全に防ぐことは不可能ですが、人的被害を最小限に抑えることは可能だと思います。	
8	完成後の施設活用について	平常時は、サロンにも公民館として利用しても不自然でないと思います。	
9	整備費用に対する補助について	水防センター概要の「整備費用」で施設の延べ面積約300㎡で概算費用が約150万円になっていますが、この費用に対する国等の補助金等はあるのでしょうか。あるとしたら、どの程度になるのでしょうか、教えてください。	
10	整備費用について	建物の規模、使用目的については、問題なく良い計画だと思いますが、概算費用においては、かなり高めの設定と思いました。軽量鉄骨造の坪当たり単価が70万～90万程度と聞いています。90坪×90万の時でも、8100万位です。市民の立場からすれば、少しでも低予算であることを願います。	
11	維持管理費用について	維持管理費が概算とはいえ、低く見積もりすぎではないか。	
12	施設の利用率について	平常時には学習施設、文化活動の拠点として利用するとのことだが、使用料金は発生するのか。発生した場合は、維持管理の原資として使用するのか。	
13	整備の案内について	パブリックコメントの協力依頼があって初めてこの整備を知った。延岡市の各企業には整備する案内を行っているのか。市民に広く知れ渡るようにしてほしい。	
14	施設の外観について	いつ来るかわからない災害だから日頃から建物の存在を知ってもらうのが大事だと思います。外観は明るく元気になるような目立つ色がいいと思います。がっちりとした石造り風でヨーロッパのお城のような安心感があるのがいいと思います。延岡市のロゴマークや市旗もあつたらいいと思います。	

## 延岡市水防センターに関する意見募集／意見の概要と本市の考え方

○意見募集期間：令和5年8月31日（木曜）～令和5年9月20日（水曜）

○結果：提出者15名 提出された意見26件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
15	津波発生時の安全性について	防災学習の場になることはとても良いと思いました。避難者が安心して過ごせる場所になれば良いと思いますが、川の合流点ということで、地震の際に津波が発生しても安全なのかとも思いました。	この施設は、五ヶ瀬川等の河川洪水を想定した防災施設として整備を計画し進めています。 整備箇所周辺は、令和2年3月に宮崎県より発表された南海トラフ地震による津波浸水想定区域にはなっておりませんので、津波による被害の恐れは低いと考えており、国もそのように判断していることから、この場所に国が河川防災ステーションを整備することを決定し、その中に市が水防センターを整備するものです。
16	施設の機能について	レイアウト図の中で感じたことでは廊下は必要ないのではないかと思います。男子シャワー室のとなりの0812の標記が何なのか分かりません。男子シャワー室と女子シャワー室は、廊下が一緒、入口も近いので間違っただけで入ってしまったらと思うと恐怖を感じます。男子WC側と女子WC側に離れてくれた方がいいます。給湯室は避難者60名を想定しているにしては小さすぎだと思えます。給湯室スペースは会議室にもってきて対面システムキッチンにしたら使いやすいのではないかと思います。	水防センターは、国が整備する防災ステーション敷地内の利用可能な限られた面積で整備する必要がありますが、外からも利用可能なトイレも整備し、障がい者の方も安心して利用できる多目的トイレも含めた、トイレやシャワー室の数、会議室等の配置を計画しています。レイアウトの配置変更や対面システムキッチンの採用は難しい状況ですが、市民の皆様が安心・快適にご利用いただけるよう詳細を今後検討していきます。
17	施設の機能について	最大で60名程度の避難利用では不十分でないでしょうか。	なお、避難施設としての収容人数については、本施設の主な避難対象となる小峰地区の令和2年台風10号や令和4年台風14号の避難者数の実績（これまで10人以下と聞いています。）等からも、収容可能な規模と考えておりますし、この点については、地区役員との意見交換も実施した上で計画を作成しました。また、この施設以外にも、南方地区内には避難可能な施設を指定しています。
18	施設の機能について	風水害時の避難場所となるのであれば、乳児に授乳できるプライベートな空間がないと赤ちゃんとともに避難するお母さんは不安のではありませんか。	避難施設として利用した際の防犯対策については、様々なケースが考えられますが、例えば、女子更衣室入口は、施設可能な構造としていますし、施設が可能なことから、乳児とともに避難されたお母さんの授乳スペースとして利用していただくことも想定しています。
19	施設の機能について	高齢者が避難すると考えるとトイレ利用の高齢者がいるかもしれないので、多目的トイレか車いすが入れるトイレがもう少しあればいいと思います。	市におきましては、避難場所に避難することだけが避難ではなく、親戚や友人・知人宅、ホテルなどに避難する「分散避難」についても、様々な機会を通じ市民の皆さんに周知を行っているところです。高齢者等避難や避難指示が発令された場合は、ご自身が安心できる場所への早めの避難をお願いします。
20	施設の機能について	風水害時の指定避難所のない小峰地区の住民としては、水防センターに避難場所が設置されることは大変心強くありがたいと思います。記事によりますと、避難場所の収容人数は最大で60人程度となっていますが、もう少し人数を増やすことはできませんか。	
21	施設の立地について	非常時において、実際に使用できるか不安です。もっと高台に設置すべきではないでしょうか。	
22	施設の立地について	延岡市が作成した非常時の水防活動や災害時の一時的な避難場所として使用する事で市民の安心安全を確保する事を目的として設置する「延岡市水防センター」の設置場所選定理由について教えてください。	防災ステーションは、国の河川防災関連施設及び河川防災ステーション整備要綱に則り、市内外からのアクセスや災害リスク等を考慮した上で国が整備箇所を決定し、現在、整備が進められているところです。  そもそもこの施設は、国が整備する河川防災ステーションの中に整備するものですので、国は盛土などを行うことで災害上問題ないと判断してこの場所に河川防災ステーションを整備しています。
23	施設の立地について	今回延岡市が設置する「延岡市水防センター」の設置場所は、延岡市の作成した洪水・土砂災害ハザードマップの小学校区別一覧の南方小学校区によると、想定最大浸水深5m以上10m未満で、早期立退きが必要な区域内となっており、計画では、想定最大規模の洪水高さでも浸水しない高さに盛土されているとありますが、いくら国土交通省が整備するからといって、洪水発生時には水防センターの周辺が役目を果たさなくなるような場所に1億5千万円の費用を要して水防センターを設置することは、市民の安心安全を確保する目的に反していると思います。市民の安心安全を確保するため、利便性が良く市民の安心安全が本当に守られている場所に水防センターを造ってください。お願いします。	水防活動を国と連携して円滑に行う拠点であることから、国の河川防災ステーション（ヘリポートなどもある）の中に建設することは望ましいと考えています。  また、防災ステーションの南側には、東九州自動車道・九州中央道へ直結するルートが既に確保されていることから、有事の際の安心や交通アクセスの面で好条件の立地であると考えています。
24	施設の立地について	このような施設を作って備えることは大賛成です。資料をじっくり読む時間があまりなかったので見落としているかもしれませんが、この土地は過去に水没したことはありませんか。この地区にあまり行くこともないので、どのような土地かもよく知らず、勝手なことと言っているかもしれませんが、この土地が水没せず、周辺が水没してこの施設にたどり着けないことがなければ、大賛成です。	更に、広域的な大規模災害時を想定すると、緊急復旧用資材の提供や災害対策車両の中継基地の役割も担うことも可能となっています。
25	その他	独り暮らしやペットのいる人、車がない人等の移動手段はどうしたら良いですか。	避難に際しては、避難行動が早めに行えるよう、天候が悪化する前に避難指示等の発令を行っている状況のため、移動手段につきましては、徒歩での移動や、親せき等のお知り合いにご協力いただくほか、タクシーを利用される等が考えられますので、ご自身に最も適した移動手段のご選択をお願いします。  また、ペットを飼育されている方は、ペットと同行避難が可能な施設もあり、市のHPでもご確認できますので（現在市内に54箇所あります）、ご不明な点等については問い合わせをお願いします。  なお、この施設についてもペット同行は物理的には可能となるよう整備する考えです。
26	河川防災ステーションについて	五ヶ瀬川では、過去に度々水害が発生している。最近では、2005年に記録的な降水量で大きな被害が発生した。17年後の2022年も台風14号により、同じような被害が発生した。水害のリスクは年々高まっている。水が堤防を越えて市街地全体が浸水する事態がいつ発生してもおかしくない。洪水対策として遊水池的な役割を果たす田畑の存在は大変重要である。天下・小峰・高野地区の水田も洪水時には遊水池的な役割を果たしてきた。したがって、このような場所を埋め立てるというのは本末転倒である。計画時にそんな議論はなかったのだろうか。担当者は言うだろう。「埋め立てた面積は浸水予想エリアの1%以下ですよ。」と。でも、ここを埋めたことにより、洪水時には水位は確実に上昇する。0.1%でも埋めるべきではなかったと考える。	国の河川防災ステーションは、国がこれまでの被災状況を踏まえた上で、盛土をして整備することで、安全が確保されていると判断して整備を決定したと聞いております。